

# 府中市 図書館 だより

## 第35号

平成27年9月30日  
発行 府中市立図書館

## 本とのつながり



小学生時代のこと。私の住む南町周辺には多くの田んぼや空き地があり、草野球や鬼ごっこなど走り回って遊ぶのが日課でした。したがって、学校の宿題には手をつけるけど、読書の時間をつくることをあまり考えていなかったような記憶があります。

しかし高学年になって変化が現れました。それは自転車で少し遠出できるようになったからです。大國魂神社境内の中央図書館や白糸台文化センターの図書館に通い、自分としては少し大人の気分を味わいながら本を読むことの楽しさを知りました。南町から白糸台までの道のりはかなりありますが、当時近くに文化センターがなかったことと、いつもと違う街にいろいろな発見がありとても楽しかったです。

よく借りた本の作者は「星新一」です。短編で読みやすかったのももちろんですが、話の一つひとつにあるオチに感心し、何度も何度も読み返しました。かの有名な「気まぐれロボット」では、夢のような薬やロボットを作る博士や地球を訪れた宇宙人が次々登場しますが、今思えば、時間、人類、地球、宇宙など多次元的な不思議な世界に私自身が没頭していったのでしょう。そして、四十数年たった今でも、その時感じた感覚は同じです。つまり、星新一の世界は、不変的な新鮮さを持っていると思います。

府中市長 高野律雄

# 秋の特集号!

読書の秋～私の一冊～

みなさんは心に残る思い出の一冊がありますか？  
今回は「読書の秋」にちなんで、思い出に残る本を紹介していただきました。秋は読書にぴったりの季節です。この秋、ぜひお気に入りの一冊を探しに図書館へ足を運んでみてください。



『この国のかたち1～6』  
司馬遼太郎／著 文藝春秋  
『21世紀に生きる君たちへ』  
司馬遼太郎／著 朝日出版社

私は、近所の新町文化センター図書館で随筆や雑誌などを中心に、本をよく借りています。本は趣味のオーディオと同じくらい好きで、クルクル回るレコードを自作の真空管アンプで聴きながら本を読むのが至福の時です。手元にコーヒーがあればなお結構です。

「心に残っている本」と問われて、すぐに思い浮かびませんでした。速読そして濫読を自覚しており、じっくりと活字を追って行間を読み取るタイプではないことがその理由のような気がします。ですから、気に入った本は時間をおいて2回、3回と読み返すことも多く、そのつど新たな気付きを楽しむことになります。

よく読む本の著者は司馬遼太郎。ただし小説よりはエッセイや対談、講演録に偏っています。中でも読み返すたびに多くのことを発見するのは『この国のかたち』です。難読の熟語や見慣れない用語もあり、電子辞書が必須です。短く歯切れの良い文体と研ぎ澄まされた表現による含蓄の豊かさは、まるで日本庭園に配された庭石の土中の大きさや想像する思いです。読み返すたびに新たな発見があります。

小学校の国語の教科書向けに書かれた『21世紀に生きる君たちへ』も好きな本です。著者は一編の小説を書くことよりも苦勞したとのこと。昭和という激動の時代を生きた著者が、子どもたちに未来を託して全霊を込めたメッセージに、大人も勇気付けられる心の中に残る本のひとつです。

府中市教育長 浅沼昭夫

# 本と音楽、 そしてコーヒー

府中市立図書館の郷土資料に「川崎平右衛門」があります。「川崎平右衛門」研究の第一歩は、『代官川崎平右衛門の事績』(昭和63年11月)を著した故渡辺紀彦氏の調査研究によります。府中市立図書館では平成21年3月、渡辺氏から寄贈された書籍等を「渡辺文庫目録一改訂版一」にまとめ、その中で「川崎平右衛門」と項立し、目録化しています。さて府中市立図書館の郷土資料としての「川崎平右衛門」、どんな人物か、皆さんはご存知でしょうか。



武蔵府中郷土かるた

# 府中が生んだ代官 川崎平右衛門

府中市文化スポーツ部長 後藤廣史

昭和48年に発刊され、今日まで四十数年にわたり版を重ねてきました『武蔵府中郷土かるた』は、毎年市内の小学3年生全児童に無償で配布していますが、ことばは市民からの公募、絵は府中にお住まいだった絵本画家・赤羽末吉氏にお願いし、製作したものです。かるた文字札の裏面には解説文をつけるなど、親子で楽しむことができ、そしてふるさと府中の郷土学習の一助となるよう工夫されています。このかるたの「き」は「ききん救った平右衛門」で、府中出身の川崎平右衛門定孝が紹介されています。

川崎平右衛門は元禄7年(1694年)、府中の押立村に生まれましました。飢饉に見舞われた折には、名主として自家の蔵を開放、私財を投げうって農民の窮状を救っています。また多摩川の洪水対策、治水に取り組むなど、平右衛門の名は、その深い見識と力量、人柄が評判になっていました。平右衛門の青年期は、後年彼の人生に大きな影響を与える徳川吉宗が8代将軍の座についた頃です。将軍吉宗が推し進めた「享保の改革」の柱のひとつ武蔵野新田開発は、吉宗の意を受けながら、大岡越前守忠相とその部下の代官たちによって支配されたものですが、平右衛門は元文4年(1739年)、46歳にして武蔵野新田世話役に抜擢され手腕を発揮、82ヶ村の新田村々が誕生しています。またこの頃、平右衛門は玉川上水の堤に桜を植え、これが今、桜の名所「小金井の桜」となっているのです。

その後寛延2年(1749年)、美濃国(現岐阜県)の本田代官に赴任します。木曾川、長良川、揖斐川という木曾三川が合流する美濃国にあって、人々は水陸不明の地といわれる輪中で生活しています。長良川が増水すると、逆流する水で輪中内が水に浸かり大きな被害が出ることから、逆流することを防ぐ「閘門こうもん」を造り、人々を水害から救っています。

そして宝暦12年(1762年)、今度は石見国(現島根県)大森代官となり、石見銀山の経営に手腕を振っています。あの世界遺産に登録された石見銀山に、府中の先人の足跡があった訳です。その後、平右衛門の息子も、孫も、三代続いて代官になって、大森の地でそれぞれ事跡を刻んでいます。

平右衛門は、この後大森から江戸に戻りますが、明和4年(1767年)に江戸で病没、享年74歳でした。押立、美濃、石見、江戸の4ヶ所に平右衛門のお墓があり、武蔵野、岐阜の輪中、大森の町と、各地に供養塔や謝恩塔が残っています。また岐阜県瑞穂市では「川崎治水翁顕彰会」がつくられ、平右衛門のお墓がある興禅寺で、現在でも6月6日の平右衛門の命日に、法要が行われています。

平右衛門の事績また人柄を、一言で表現することは難しいことですが、郷土の森博物館前学芸員の馬場治子氏が企画した平成20年度特別展「代官・川崎平右衛門」のサブタイトル「一時代が求めた才覚の一人」が、言い得て妙のように思います。再来年の平成29年は、平右衛門没後250年を迎えますが、府中の先人・川崎平右衛門を、一人でも多くの市民の皆様知ってもらいたいと願います。



平右衛門像(郷土の森)

出典  
『武蔵府中郷土かるた』  
府中市郷土の森博物館／編  
府中市教育委員会 F798/10/A

# ◆◇◆大國魂神社の狛犬たち②◆◇◆



(左)



(右)



出典：大國魂神社ホームページ  
 神社マップ・境内配置図  
 〈<https://www.okunitamajinja.or.jp/meguri/>〉に基づいて作成



(左)



(右)



(左)



(右)



(左)



(右)

魅力的な狛犬がたくさんいる大國魂神社ですが、今回は神社入り口の大鳥居にある大鳥居前狛犬、忠魂碑前狛犬、西鳥居前狛犬、東鳥居前狛犬を紹介します。

神社の入口に御影石製では日本一と言われている大鳥居があり、その入り口を守るように一対の狛犬が高い台の上に鎮座しています。この大鳥居前狛犬は昭和46年に奉納され、台座には、社宝である重要文化財の木造狛犬を模して謹作されたと刻まれています。たてがみの直毛と巻き毛の置き方も木造狛犬と同じで、胸の筋肉の表現もよく摸して彫られています。この狛犬を奉納された堀江家は、徳川中期より代々大國魂神社例大祭競馬式に一之駒を奉納した家柄で「駒屋」と称されました。

大鳥居をくぐり、欅並木の続く参道をたどっていくと、左手に忠魂碑と忠魂碑前狛犬が見えます。忠魂碑は大東亜戦争における郷土出征戦没兵士の忠魂を偲んで建立されたもので、毎年9月24日に慰霊祭が行われています。この新しい石造狛犬は、くっきりとした彫りの筋肉質な体と白い歯が印象的です。

そして、東参道と西参道の入り口にはそれぞれ一対の昭和型狛犬、西鳥居前狛犬と東鳥居前狛犬があります。この西鳥居前狛犬は、西大門からの参拝者が多くなり、鳥居前がさびしいのを憂い、明治100年を記念して御霊宮旧御篝火講中世話人有志と崇敬者の方々より奉納されました。東鳥居前狛犬も、府中市の発展に伴い東参道からの参拝者が多くなり、京所町有志の方々により奉納されたものです。美しい毛並みの凛々しい姿で、口の中は朱が入られています。この派手な巻き毛のよく見かけるタイプの狛犬は、口の中や耳が赤で塗られていたり、子連れや玉取りになっている形が多いようです。

比較的新しい時代の狛犬たちを紹介しましたが、多くの人々の目にとまる神社の参道におかれているので、目にする機会が多いのではないのでしょうか。参道にいる狛犬たちは「参道狛犬」とも呼ばれ、大変親しまれています。狛犬はもともと宮中や神殿・仏殿の中に置かれていましたが、神社に随神門が設けられるようになると、そこにも狛犬が置かれるようになりました。木彫りが主流だった狛犬が石造りのものになり、やがて私たちになじみの深い参道の狛犬になったようです。

## 【参考図書】

『府中市史史料集 5』 府中市史編纂委員会  
 『大國魂 第1号～50号』 大國魂神社奉賛会  
 『府中市郷土資料集 3』 府中市教育委員会  
 『狛犬』 藤倉郁子／著  
 『日本全国獅子・狛犬ものがたり』 上杉千郷／著  
 『和漢三才図会 4』 平凡社  
 『狛犬かがみ』 たつきよしみつ／文  
 『府中市史 上・中・下』 府中市  
 『あるくみるきく No. 206 武蔵府中の暗闇祭り』

2015

## 市民文化の日

府中市立図書館では、市民文化の日に合わせて講座や講演会を開催します。

(事前申込制)



## レファレンス講座

## 「映画になった児童文学

～『秘密の花園』から生まれた3つのシネマストーリー～

講師 川端 有子 先生 (日本女子大学家政学部児童学科教授)

皆さんは、児童文学の『秘密の花園』を知っていますか？内容を知らない方でも、小さい頃に一度は耳にしたことのある作品なのではないでしょうか。『秘密の花園』はイギリス生まれのアメリカの小説家フランシス・ホジソン・バーネット (Frances Hodgson Burnett) によって書かれた作品です。バーネットは「小公主」や「小公子」のような名作を多数書いていますが、中でも最高傑作といわれているのがこの『秘密の花園』です。世界的に有名なこの作品はミュージカルやアニメ、映画などにもなっており、出版されてから現在まで多くの方に愛されています。

本講座では、英米児童文学の研究者である川端有子先生をお招きして、『秘密の花園』を中心に映画化された児童文学についてお話いただきます。内容は秘密の花園を読んだことがない方でも楽しんでいただける内容になっておりますので是非お申込ください。

- ▽日 時 平成27年10月10日(土) 午後2時～4時
- ▽場 所 ルミエール府中1階 第1・第2会議室
- ▽講 師 川端 有子先生 (日本女子大学 家政学部児童学科教授)
- ▽対 象 一般 (どなたでもご参加いただけます。)
- ▽定 員 先着40名 (無料)



## 図書館講演会

## 「みちかなアリのふしぎなせいかつ」

講師 佐藤 俊幸 先生 (東京農工大学農学部准教授)

家の庭から校庭、道路や公園、どこでも見かける昆虫、アリ。お菓子のかけらを巣穴に運んだり、行列をつくって歩いていたりするところを、よく見かけます。みんな同じような姿に見えますが、私たちが住んでいるこの町にも、実は色々な珍しい種類のアリが暮らしていることを知っていますか？講演会では、今まで知らなかった地面の下のあんなヒミツ、こんな不思議を、みんなで解明していきます。

講師は、NHK『ダーウィンが来た!』にも出演された、アリ研究の第一人者、佐藤俊幸先生 (東京農工大学) です。先生のあとに続く未来の研究者は誕生するのでしょうか。

講演会終了後、会場で明らかにされたアリの「ヒミツ」と、おすすめ本のリストを図書館ホームページに掲載します。どうぞお楽しみに！

- ▽日 時 平成27年10月11日(日) 午後2時～4時
- ▽場 所 ルミエール府中2階 講習会議室
- ▽講 師 佐藤俊幸(さとう としゆき) 先生  
(東京農工大学農学部 准教授)
- ▽対 象 小学3年生以上一般 40人(親子参加可)

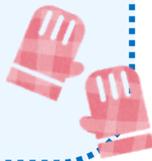


冬

## のおたのしみ おはなし会

中央図書館では、3歳～小学生を対象として読み聞かせを行っています。冬のおはなし会では、絵本や昔話、手遊びなど、いろいろ行います。手作りのプログラムの配布もします。当日、ぜひ会場にいらしてください。（申込み不要）

- ▽日時 12月17日（木）  
午後3時半～4時半
- ▽会場 中央図書館 おはなしのへや
- ▽対象 3歳～小学生



小

## 学生のためのブックトーク よむよむ探検隊

中央図書館では、一つのテーマを立てて、何冊かの本を紹介するブックトークを開催します。ぜひ当日ご来館ください。

- ▽日時 10月17日、11月21日、12月12日（土）  
午後2時～2時45分
- ▽会場 中央図書館 おはなしのへや
- ▽対象 小学4・5・6年生
- ▽定員 先着30人
- ▽内容 テーマは、10月「発見」、11月「時間」、12月「かそえてみよう」

## おはなしキャラバン

府中市子ども読書活動推進連絡会主催で、おはなしボランティアグループ「絵本だいすき」が府中市内の施設を回っておはなし会をします。

- ▽日程・会場
- 10月6日（火） 府中市美術館
- 10月16日（金） スクエア21・女性センター
- 10月20日（火） 押立文化センター
- 10月23日（金） 子ども家庭支援センター「たち」
- 10月30日（金） 郷土の森総合体育館
- 11月12日（木） 北山保育所
- ▽時間 午前10時半～11時（北山保育所のみ午前10時～10時半）
- ▽対象 1・2歳児と保護者
- ▽定員 各日先着20組



# おはなし会の 日程10月～12月

ご案内

「おはなしの森」では絵本や昔話の読み聞かせを、「ちいさい子のおはなし会」では赤ちゃん絵本の読み聞かせやわらべうたを行っております。

### 〈ちいさい子のおはなし会〉

#### ●中央図書館

日時／10～12月の第2・4木曜日  
午前10時半～11時

対象／1・2歳児と保護者

☆おはなし会の後に絵本のプチ講座も行います。

#### ●地区図書館

日時／地区図書館「おはなしの森」と同日の  
午前10時半～11時

（四谷図書館のみ 10月7日、11月4日、12月2日（水））

対象／1・2歳児と保護者

### 〈おはなしの森〉

#### ●中央図書館

日時／

①10～12月の毎週木曜日 午後3時半～4時

②10月3日、11月7日、12月5日（土） 午前11時～11時半

対象／3歳～小学生（保護者同伴可）

#### ●地区図書館

日程／

四谷図書館——10月1日、11月5日、12月3日（木）

紅葉丘・宮町・押立図書館

——10月7日、11月4日、12月2日（水）

白糸台・西府・新町・片町図書館

——10月14日、11月11日、12月9日（水）

武蔵台・是政図書館

——10月21日、11月18日、12月16日（水）

住吉図書館——10月21日（水）、11月26日（木）、

12月17日（木）

生涯学習センター図書館

——10月28日、11月25日、12月9日（水）

時間と対象／

午後3時半～4時／3歳～小学生（保護者同伴可）

（新町のみ午後2時半～3時）

## 特別文庫のご紹介②

### 冷水文庫

冷水文庫は歌人であり土岐善麿研究者でもあった、冷水茂太氏の旧蔵書です。

自身の歌集である『歌集むらぎも』などを発表する一方で、『土岐善麿考—その哀歌時代』などの評論を出しています。

冷水氏は昭和7（1932）年に鈴木北溪による『短歌街』に参加し、『立春』を経て、昭和15（1940）年創刊の筏井嘉一による『蒼生』の編集委員になっています。昭和32（1957）年には市来勉、横田専一らと共に『橋』を創刊しました。昭和47（1972）年には土岐善麿を中心とする雑誌『周辺』の編集者となり、昭和56（1981）年にはその後継誌と言える『短歌周辺』を創刊しています。また、自らが指導する短歌サークルの毎月の記録として、昭和51（1976）年に『府中短歌』を創刊しています。

冷水文庫は冷水氏の歌集や自身が編集、創刊した雑誌に加え、土岐善麿や石川啄木、北原白秋、宮柊二らの歌集や評論、文学書など約1,600冊で構成されています。

### 塩野文庫

塩野文庫は東京国立博物館写真室に所属し、室長も務められていた塩野直茂氏の旧蔵書です。『日本の美術』『日本の陶芸』『日本の漆芸』『法隆寺献納宝物特別調査概報』等に、撮影者として名前を見ることができます。

塩野文庫は昭和40（1965）年に開催された『ツタンカーメン展』などの東京国立博物館の展示図録、東京国立博物館の研究誌である『MUSEUM』、東京国立博物館の研究紀要や全国の文化財報告書や美術書等、約1,000冊で構成されています。

●催しは予約制です

## 中央図書館の行事予定

- 10月 | 10日(土) 図書館レファレンス講座  
11日(日) 図書館講演会  
「みぢかなアリのふしぎなせいかつ」  
18日(日) ガイドツアー
- 11月 | 22日(日) ガイドツアー  
28日(土) 糸とじ本を作ろう!
- 12月 | 13日(日) 図書館講演会「2時間でわかるイスラーム」  
19日(土) JAXAがきた! 2015  
20日(日) ガイドツアー

### OPAC検索案内のお知らせ

館内の検索機（OPAC）のご案内です。触ったことのない方も大丈夫！マンツーマンで行います。

検索機は資料探しに欠かせません。入力のコツなど、質問内容に合わせて15分程度のご案内をいたします。

毎週水曜と最終週の日曜、午後2時～3時半の間に3階の総合カウンターへお申し出ください。

## 掲示版

### ■ご利用ください！ 地区図書館の図書リサイクル

お知らせ  
その1

地区図書館では毎年1回、10月にコーナーを設けて図書のリサイクルを実施しています。今年も行いますので、ぜひご利用ください。

▽日時 10月6日(火)～10月25日(日)の開館日  
9時から17時

(生涯学習センター図書館の平日は19時まで)

▽場所 各地区図書館内(押立図書館を除く)



※持ち帰り冊数は1人20冊までです。手さげ袋をご持参ください。在庫がなくなり次第終了します。詳細は各地区図書館までお問い合わせください。

### ■休館のお知らせ

お知らせ  
その2

▽蔵書点検のため、次の日程で休館します。

	館名	日程
10月	中央	19日(月)～21日(水)
11月	押立	16日(月)～17日(火)
11月	住吉	16日(月)～18日(水)
12月	是政・四谷・宮町	7日(月)～9日(水)

### ■エレベーター工事について

お知らせ  
その3

白糸台図書館・片町図書館では、エレベーター工事を実施しています。工事期間中は、エレベーターをご利用いただくことができません。また、工事に伴う騒音・振動等が発生します。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

▽工事予定期間

白糸台図書館 ～10月下旬(予定)

片町図書館 ～10月末日(予定)

お問合せ

府中市立中央図書館  
〒183-0055 府中市府中町2-24  
TEL 042-362-8647  
ホームページアドレス  
<http://library.city.fuchu.tokyo.jp>